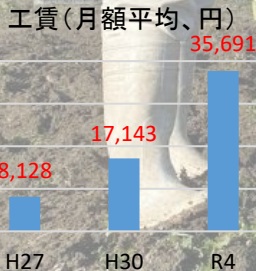


京都府京田辺市

さんさん山城（社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会）

農福
連携

地域に根差した「ノウフク」を実践！



取組内容

- 「地域に必要とされる場所」を目指し、地元で根差したノウフクに取り組む。栽培に手間のかかる京都えびいもや京都田辺茄子など、高品質な農作物を生産し、手摘みの茶は令和4年度「JA共販茶求評会(てん茶・手摘みの部)」で京都府1位を獲得した。また、これらを活用した付加価値性の高い加工品の商品開発も積極的に行い、併設のコミュニティカフェでは、メニュー作りから接客、調理まで障害者が中心となり活躍している。
- 令和元年にノウフクJAS(第1号)の認証を取得。祇園の京懐石の名店や高級ホテル、ミシュランの星付きレストラン等に食材を出荷するなど、販路を拡大。JGAP認証も取得し持続可能な農業を推進。

取り組みに至った経緯

- 都市開発と高齢化で農業の衰退が著しく、障害者が地域の一員として活躍・貢献できる仕事として農業にチャレンジ。

取組の成果(受賞等)

↓順番を古い順に修正しました。修正もしました。

- 令和2年度 第8回「グッドライフアワード(NPO・任意団体部門)」環境大臣賞(主催:環境省)
- 「ノウフク・アワード2021」グランプリ(主催:農福連携等応援コンソーシアム)
- 令和4年度「あしたのまち・くらしづくり活動賞」振興奨励賞(主催(公財)あしたの日本を創る協会ほか)



宇治茶の手摘み作業

今後の展望

- これまで積み上げてきたノウハウをベースに、農業関係者・福祉関係者・企業など分野を超えた連携で地域課題の解決に向けたシステムを構築する。
- 障害者はもとより引きこもりや触法者など社会で生きづらさを抱える人々を積極的に受け入れ「誰もが社会の一員として活躍できる農福連携」を実践。
- 大学や研究機関と連携し、「農福連携」を学問分野の一つとして確立させる。



【ノウフクアワードの詳細はこちら】



【BUZZMAFFでの取組紹介】